

この8月里山の会会員が作業中ハチに刺される事故が4件発生しました。今年は猛暑の為、ハチの数が例年より多いとも新聞で掲載されていました。刺すハチは限られた種類ですし、刺されてもハチ毒アレルギーがなければ、3日程で、痛みや、かゆみ、腫れも落ち着きますので、いたずらに怖がることもありませんが、生命をも脅かすもっとも身近な生物にはわかりありません。「備えあれば憂いなし」ご存知の方も対応のご確認を！！

さとやま

No.19 平成16年 9月

発行  うしく里山の会
(NPO法人申請中)

事務局 〒300-1236 牛久市田宮町808-20
TEL 029-801-2500 (代表 坂 弘毅)

E-mail u_satoyama@inforseek.jp
HP <http://u-satoyama.web.inforseek.co.jp/>

身支度はこれ！

- **黒は狙われやすい。**
黒っぽい服装は避ける。
帽子をかぶり頭を守る。
カメラは黒よりシルバーを。
黒長靴も 要注意。
- **露出部を少なくする。**
首筋はタオル等でガード。
長袖長ズボンの着用。
手は軍手。
- **甘い香りは、禁物。**
整髪料、化粧品はやめる。
コロンもだめ。
甘いジュースの飲みかけ放置は
ハチを呼ぶ。
(ミネラルウォーターなら傷口を
洗える)
刺されの薬持つなら抗ヒスタミン系軟膏を。



ハチ、ハチの巣に遭遇したら

- 巣を見つけたら近くでの作業を即中止する。
- 巣を棒、石等で刺激を与えない。枝をゆすらない。
- 近づいてきても、絶対に払わない。
- 背を低くし、ハチが去るのを静かに待つ。
- ハチが去らず、威嚇音を発するようなら、近くに巣がある可能性大なので、ハチの行動をみて、巣が無いと思われる方向に、冷静にゆっくり後退する。
- 逃げる時、急に向きを変えたり、大声を上げない。

ハチに刺されたら

速やかにその場から離れる。

刺すとハチは毒液を空中に散布し多数のハチを呼び攻撃される恐れがある。

緊急時連絡控え

牛久消防署 119 (029-873-0119)
つくばセントラル病院 029-872-1771
牛久愛和総合病院 029-873-3111

応急手当を行う。

- ①傷口を流水でよく洗う。
(水なければ、水筒のお茶でも)
- ②毒を出す。搾り出す。
専用のスポイトあれば使用する。
絶対口で吸わない。
- ③針を取り除く。
- ④抗ヒスタミン系軟膏を塗る。
アンモニアは全く効果なし。
- ⑤冷やす。

被害者に確認と症状観察

質問
以前ハチに刺されたことがあるか？
ハチ毒アレルギーと言われたことがあるか？
症状 震えの有無。呼吸困難、
血圧低下有無。意識の有無。

各関係者に連絡

被害者家族への連絡。
事故が観察の森内なら観察の森センターへ連絡。
事故現場への立ち入り禁止措置を依頼。救急車誘導等の依頼。
うしく里山の会代表者への連絡。

いずれかでも有りなら→大至急病院へ
(119番、自家用車の場合もスタッフも必ず同行)

いずれも無しでも
できるだけ早く医師の診断を。

同行事参加者への状況説明。催し続行の有無決定と告知。事故記録の作成。保険対応等

一度刺されたことのある方は、ご自分がハチ毒アレルギーを持っているか否かを病院で検査することをお勧めします。アレルギーの方でも医師の処方により再度刺された際の症状を軽減する自己注射を入手できます。

15回運営会議 議事録

日 時：平成16年8月7日（日）
場 所：牛久自然観察の森（ボランティア室）
参加者：（事務局）10名P代表2名 観察の森 齊藤IP
【定足数の確認】事務局議席11名P代表3名合計14名のうち12名出席。本会議は成立。

【議事・報告】

1. 森林総研解説員ボランティアは、予定通り進行中。
2. 自然探検隊は、小学生29名が参加無事終了致。
3. 社協共催の「わくわく親子体験」は、本日福祉センターで実施中。
4. 国土緑化推進機構より、茨城県内の自然保護ボランティアを集めての会合実施の連絡がきています。9月28日水戸で第1回目の打合せとなります。
5. NPO法人の取得が間近になりました。行政サイドよりの支援依頼に対応する具体的な方法を検討したいと考えていますので、次回討議と致します。
6. 夏の活動に当たって、安全対策の重要性が増しています。各P代表は、各活動前安全対策の指示をお願い致します。また、会としても安全講習会を計画したいと思います。
7. 会議方法の変更は8月より実施でしたが、認識出来ていなかったため、再度連絡致します。次回より下記となりますので、御注意下さい。
①運営会議 毎月第1土曜日9：30～ボランティア室。
次回は、9月4日（土）となります。
②理事会 偶数月第3日曜日（初回は、8月15日がお盆となるため、8月22日）9：30～ボランティア室にて。

【観察の森より】

1. 牛久市の来年度予算案作成は、例年より遅れて9月頃に始まりそうです。（齊藤IP）

森総研で見つけた、 ちょっと素敵な森の本

人間に歴史があるように、草原にも森にも歴史があります。でも、森の歴史は人間の歴史とはちがいで、どのように変わっていくのかについてきまった自然の法則があります。その法則をアメリカのマサチューセッツ州の森を舞台にして説明したのが、この本です。（河合雅雄 文より。）
わずか50数頁、読めば10数分で読み終えるこの本の中には、200年にも及ぶ森とそこに住む動物たちの歴史が詰まっています。挿絵が匂いや音を運んでくるように新鮮で解りやすいものです。
おそらくは、子供向けに書いた本であろうが「まるで、ドラマチックな映画を見た様！」（森総研でこの本を読んだお母さんの感想）と感動さえ覚える内容です。

「森はだれが
つくったのだろう？」

ウィリアム・ジャズパン文
チャック・エッカード絵
河合雅雄 訳
童話屋 出版

記 山田



わんぱくビートルズ プロジェクト

カブトムシが暮せる里山は すばらしい!

昨年12月からはじまった「わんぱくビートルズ」は、8月28日が卒業式でした。自宅のカブトムシのサナギから成虫への様子を聞いた後、昆虫採取に挑戦！ちょっと涼しい日でしたが、クワガタやセミ、トンボ、カマキリなど、たくさんの生き物たちに出会うことができました。

最後は大切に育てたカブトムシを、生まれ故郷のコジケイの林へ返してあげました。どこかで雑木林を見かけたら、カブトムシやわんabeeで学んだ里山の暮らし、そのすばらしさを思い出してね！

あべっち、
よだっち、
いまちゃん、
みきちゃん、
ともちゃんより

記 阿部（幸）



こども星見隊 プロジェクト

9.1等星までみえた!

またもやムジナの里でイベントを行ないました。今回は全国星空継続観察（スターウォッチング・ネットワーク）への協力を行ないました。

参加者はこども星見隊のスタッフと講師で、8/16、17、19の3日間で行いました。内容はごく単純で、

- 1) 肉眼での天の川観察。
- 2) 規定の双眼鏡を用いてこと座のベガ付近の星が何等級まで見えるか？を確認するものです。

結果は、

- 1) 白鳥座付近の天の川が肉眼で観察できた。
- 2) 9.1等級までの星を観察することができた。
というものでした。

9.1等を確認したのは小学校4年生でした。子供はやはり目が良いですね。皆様も天気の良い夜に空を見上げてみてください。天の川が見えるかもしれませんよ。更に双眼鏡を使うと無数の星が観測できます。試してみてください。
記 中山

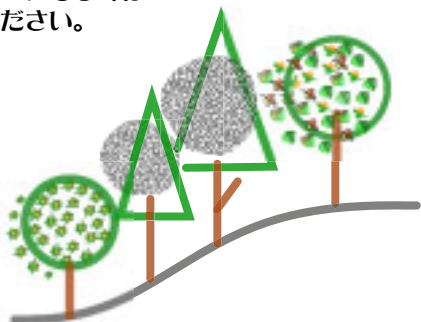
☆ スターウォッチングは環境省と日本環境協会が主催する行事で、全国的に行なわれているイベントです。



寝ころんで夜空を見る参加者

プロジェクト活動報告

各プロジェクト活動を紹介しています。
より詳しくはホームページもしくは
森の掲示板をごらんください。



現在3つのプロジェクトが
ホームページを立ち上げています。
アクセスは里山の会HPからリンクしています。

里山あるき プロジェクト

夜の川野川沿い 往く夏を歩く

春からソバカズラがまだ頑張っている。畦の夕、イヌビエが田に侵入しようとはびこっている。キクモ、ミズワラビ等はゆでて食べる。陽が落ち空が染まる頃頭上に三日月。ワイドスコープでのぞきしばしそこに佇む。ツバメは群れずばらばらに西へ。スズメは東へ。数100羽のカラスが鉄塔に。しばらくして近くの森へ。虫の鳴き声を聞きながらヨシを覆いつくす。アレチウリ、ガガイモ、等を確認。虫の鳴き声が一段と高くなる頃夏の星が夜空を飾った。タンボコウロギ、ウマオイ、アオマツムシその他、何がどうなのか聞き分けられないがカンタンは、はかなげでうつくしかった。時期はずれのホタルが往く夏を惜しむように青白い光を放つ。祈るような旋律が身体を走った。静浄で力強く光輝く命がそこにあった。

参加者・・・男5名。女3名。
次回予定・・・9月11日(土) 観察の森P9:30分。
秋の遠山」お弁当持参。長グツ。
又、8月の「さとやま」会報の里山歩き、田ノボの水路のヌマト
ラノオはノジトラノ オに訂正します
9月雨天の場合植物の鑑定。
問い合わせ・・・029-873-6562高野まで
記 高野



ムジナの里で
熱心に観察する参加者。

近年少なくなった
ミズワラビ。



さとやまがっきゅう プロジェクト

里山の夏を感じよう

8/8(日)、牛久市遠山地区と牛久自然観察の森にて、
参加者・スタッフ10名が、魚採り・さとやまいきもの
マップ作り・ネイチャーゲーム・セミのぬげがら調べを
楽しみました。

魚採りではヨシノボリ・メダカ・フナ・ドジョウを観察し、さとやまいきものマップ作りでは、五感を使っ色々な動植物を発見しました。中でもキツネノカミソリの群生が見事で、一同見惚れていました。

夏の里山で身近な生き物と言えばセミ。ぬげがらを調べるとその種類がわかるということで、調べてみました。見分けるポイントは大きさと触角。虫めがねを使ってじっくり観察したので、これでもうみんな「セミのぬげがら博士」かな？

さて次回は秋の味覚を楽しむ予定です。どうぞご参加下さい。
記 阿部(真)



雑木林応援隊 プロジェクト

ハチに刺された……

8月4日 盛夏

4日の水曜日、畑隊作業中にハチに刺されたと聞き、事前に口頭で注意を促し出欠表に注意事項を明示した。林内のアズマネササを刈り、柵として積み上げる、雑木林内が少し広がりを見せた。

草地の整理、草は幾度刈っても生えてくる、今まで何度刈ったことか、...

道作り、前回に杉林を縦断するように作った道をさらに広げる。雑木林内にある基地からグランドゴルフ場の西側に向かう。杉林をぬけ明るいところまで残り数メートルのところで、静さんが「ハチの刺された」と声をあげる。一緒に作業中の私も、目にぶつかるものがあり痛い。静さんはハチを確認しているが、私はなんだか分からない。

草地に戻り、水で目を洗いながす、静さんは臉に刺されている、雨宮さんも刺されたと平気な顔で腕を見せる。腫れている。目の近くなので心配だからセントラル病院に電話を入れてから行く。一時間も待たされて診察を受け、血圧を測り、大丈夫でしょうと薬を受け取り帰る。その後、刺された人に大事がないので安心。

緊急連絡系統とハチの対処を今作成中。これからはスズメバチの季節と聞く。注意注意！ 記 飯田

9月の里山カレンダー

変更になる場合があります。HPを参考にご覧ください。

1	水	雑木林応援隊(畑)	9:30畑
2	木		
3	金		
4	土	森のレクチャー 運営会議	10:00NC 9:30NC
5	日		
6	月		
7	火		
8	水	雑木林応援隊	9:30畑
9	木		
10	金		
11	土	里山歩き	9:30森P
12	日	雑木林応援隊	9:30ムジナの里 9:30(藍染講習)
13	月		
14	火		
15	水	雑木林応援隊(畑)	9:30畑

16	木	里山百選	9:30森P
17	金		
18	土		
19	日	運営会議	9:30NC
20	月	(敬老の日)	
21	火		
22	水		
23	木	雑木林応援隊(畑)	9:30畑(秋分の日)
24	金		
25	土		
26	日	雑木林応援隊	9:30NC
27	月	会報原稿締め切り	
28	火		
29	水	会報編集 雑木林応援隊(畑)	9:30NC(社協) 9:30畑
30	木	会報発送	10:00NC

▨ 牛久自然観察の森休園日 NCはネイチャーセンター Pは駐車場 ○は休日 空欄は追加の予定を。

♥ イベント情報・プロジェクト情報 ♥

----- 第1回 里山セミナー 開催予定 ----- ----- 里山セミナー事務局 募集 -----

NPO法人申請に伴い、資格取得後法人格取得を記念して「第1回 里山セミナー(仮称)」を計画しています。

日時 11月6日(土) 午後3時~5時

場所 牛久市三日月橋生涯学習センター

講師 牛久自然観察の森園長 石神良三様

(独)森林総合研究所 研究管理官 埜田宏様

テーマ 里山を楽しみ、里山を守る(仮)

セミナー開催に伴い、開催準備をお手伝いしてくれる事務局員を募集しています。

問い合わせは、事務局 雨宮、又は増田まで。

電話 雨宮 871-3446 増田 872-7186 迄

----- やさしい草木染め 雑木林応援隊(畑) -----

草木染めはヒトが衣を身につけた時から始まった伝統ある生活文化です。

身近にある布を 里山の畑で育てた藍や草で染めてみませんか。

・日時9月12日(日) 雨天中止9:30~15:00

・場所 自然観察の森梅林奥炭屋前

・参加者 役30名

・参加費 里山の会会員 100円 会員外の方300円(保険料含む)

・持参する物 ゴムかビニールの手袋、染める布地(白いTシャツ・帽子・ハンカチ等綿か絹)、

・当日は汚れてもいい服装で。

・問い合わせ 029-872-6652 小野寺まで

----- 里山百選プロジェクト活動日変更 -----

里山百選プロジェクトは9月より、第3木曜日(27日)のみの活動とします。「定点撮影」は各自適時行ってください。